



育てよう 町の宝

宝達志水町

# 議会だより

## 第67号

令和4年(2022年)

2月1日発行

石川県宝達志水町議会



## 宝達志水町を裏で支える人達 ～ 第5弾 ～



公益社団法人

### 七尾法人会 女性部会

正しい税知識や積極的な経営を目指す  
経営者の方々を支援し、様々な社会貢献  
活動を行っています。(関連記事 20 ページ)

- 令和3年第4回定例会・・・2
- 第3回臨時議会・・・4
- 議案に対する質疑、討論・・・5
- 「町政を問う」一般質問(6名)・・・7
- 特別委員会審議・・・14
- 常任委員会等審議・・・16

## 年頭のごあいさつ



宝達志水町議会議長

金田 之治

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様方には、輝かしい新年を迎えられたこと、心からお喜び申し上げます。

本町議会に對しまして、日頃から多大なご理解とご協力を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

数ある課題のひとつの過疎対策では、昨年、新たな過疎対策法として「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」の施行に併せて、今後5年計画の「宝達志水町過疎地域持続的発展計画」が策定され議会において議決をいたしました。

産業の振興、生活環境の整備、子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進など多くの事業に取り組み住みよいまちづくりを目指していくものであります。

今後とも、住みよいまちづくりを目指し、町民の様々な意見に耳を傾けながら、町政の適正な監視をし、議会運営に努力していきたいと思っております。

町民の皆様にとって、本年が大きく飛躍する年となり、明るい年となりますよう、心よりご祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

## 令和3年第4回定例会（12月定例議会）

### 過疎地域持続的発展計画の策定について可決！

令和3年第4回町議会定例会が、12月9日から17日にかけて開催され、令和2年度決算関係8件が認定されたほか、補正予算関係9件、条例4件、指定管理者の指定4件、過疎地域持続的発展計画の策定について可決されました。



▲「宝達志水町過疎地域持続的発展計画の策定について」の採決の様子

## 過疎地域持続的発展計画とは？

「過疎地域」には、過疎法に定められた人口減少・財政力要件に該当する地域が指定されており、本町は平成29年4月1日に指定されました。

「過疎地域持続的発展計画」とは、過疎指定を受けた市町村が地域の持続的発展を図るために取り組む施策をまとめたものです。

また、計画策定が国の財政支援を受ける条件となっており、計画の実行にあたっては過疎対策事業債をはじめとした国の財政支援が活用できます。

⇒【詳しくは町ホームページをご覧ください。】

### 令和3年度 補正予算の状況

会計名		補正後の予算額	補正額
一	一般会計	89億3,649万円	3億5,119万円
特別会計	国民健康保険	14億5,865万円	債務負担行為補正のみ のため額の計上はなし
	後期高齢者医療特別会計	2億358万円	
	介護保険	19億7,023万円	
	ケーブルテレビ事業	8,478万円	
企業会計	水道事業	5億2,840万円	債務負担行為補正のみ のため額の計上はなし
	下水道事業	15億4,934万円	
	病院事業	16億7,035万円	771万円

### 令和3年度 補正予算の主な内容

#### 子育て世帯等臨時特別支援事業費 (子育て世帯への臨時特別給付)



0歳から高校3年生までの子どもたちを対象として、1人当たり現金10万円を一括で子育て世帯に給付する。

- 申請不要で給付金を受け取れる人 (町から児童手当の支給を受ける人)  
令和3年12月27日(月)に児童手当振込口座に支給済となっています。
- 申請が必要な人 (高校生のみ養育している人、公務員の人)  
令和4年1月25日(火)から順次支給されます。

1億5,338万円

#### ふるさと納税推進事業費

ふるさと納税の寄付件数及び寄付額の増加により、業務委託料及びシステム使用料などを増額する。



2,122万円

#### DMO事業費

宝達志水町ポイントカード会が実施する、宿泊キャンペーン及びポイント10倍キャンペーン (3月予定分) に係る費用の不足分を補助。



852万円

#### 小学校コンピュータ教育事業費

児童生徒に理解しやすい授業環境を整備するため、オンライン授業で使用する電子黒板 (各小学校3台:計15台) を導入。



490万円

#### 新型コロナウイルスワクチン接種事業費

18歳以上の3回目のワクチン接種に係る費用を増額する。



8,610万円

**議員別賛否の状況** (賛否が分かれた議案等のみ)

件名	結果	岩根 信水	勝二 正人	松浦 文治	林 稔	塚本 勇仁	土上 猛	柴田 捷	北本 俊一	金田 之治	小島 昌治	北 信幸
議案第49号 町道米出今浜線橋梁整備工事 (A2橋台) 請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	×	欠
令和2年度	認定第1号 宝達志水町一般会計歳入歳出決算の認定 について	認定	○	○	○	○	欠	○	○	-	×	○
	認定第2号 宝達志水町国民健康保険特別会計歳入歳 出決算の認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	○	-	×	○
	認定第3号 宝達志水町後期高齢者医療特別会計歳入 歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	○	-	×	○
	認定第4号 宝達志水町介護保険特別会計歳入歳出決 算の認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	○	-	×	○
	認定第5号 宝達志水町ケーブルテレビ事業特別会計 歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	○	-	×	○
	認定第6号 宝達志水町水道事業会計決算の認定につ いて	認定	○	○	○	○	欠	○	○	-	×	○
	認定第7号 宝達志水町下水道事業会計決算の認定に ついて	認定	○	○	○	○	欠	○	○	-	×	○
議案第62号 宝達志水町過疎地域持続的発展計画の策定に ついて	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	×	×

○は賛成、×は反対、△は退場、欠は欠席を表しています。なお、議長は、議事進行を行うため賛否表明は  
しません。賛否同数の場合のみ「議長裁決」として表明します。(「裁」と記載)



▲志雄小学校

志雄小学校及び相見小学  
校のアスベスト含有分析調  
査費用を9月補正予算に計  
上したが、検体数を精査し  
た結果、当初の24検体から  
126検体が必要となった。

○補正予算の内容  
633万円

第3回臨時議会が開催さ  
れ、統合小学校改修経費に  
係る補正予算1件のほか、  
契約1件が可決されました。

10/15

**第3回臨時議会**



▲相見小学校

請負契約の内容

○町道米出今浜線橋梁整備  
工事(A2橋台)請負契約  
6,600万円

米出地内における町道米  
出今浜線橋梁整備工事(A  
2橋台)について、勝二建  
設株式会社(宝達志水町小  
川)と令和3年10月8日付  
で仮契約を締結。

議案に対する質疑

◎10月臨時議会



小島 昌治 議員

質 小島 議員

入札の在り方を質疑

町道米出今浜線橋梁整備工事請負契約6600万円について質疑します。

この工事は一般競争入札と言いつつ競争でなく一社だけで入札に参加し入札が行われています。これは競争入札の在り方を示している国の示す「競争原理を利用する」地方公共団体に最も有利な条件で業者を選定することにならない。今回のやり方も「競争」の名に値しません。9月にもこの企業が単独での「一般競争入札」が行われ、サッカー場整備工事の入札・落札が行われて、批判を受けたところですが、何の反省もなく、同じ企業が競争しないで公共事業を請け負っています。町長は競争入札と言いつつ一社だけの「競争」入札が続くというのは異常だと考えないのですか。

答 寶達町長

この公共事業に条件面などで参加できる企業を羽咋郡市などから対象企業数が10社あるとあらかじめ見込み、入札を行ったのですが、結果として一社しか入札に参加しなかったという事ですので、適切だと考えています。

議案へ反対討論

小島 議員

町道米出今浜線橋梁整備工事の請負契約に反対

9月のサッカー場改修工事に引き続き、今回も一般

札が行われて、批判を受けたところですが、何の反省もなく、同じ企業が競争しないで公共事業を請け負っています。町長は競争入札と言いつつ一社だけの「競争」入札が続くというのは異常だと考えないのですか。

競争入札といいながら一社だけが入札に参加し、その業者が落札しました。これは競争という名に値しません。9月のサッカー場改修請負工事の際には入札に参加する業者を「競争」という名にふさわしく増やすことを求めました。しかし、今回も同じ業者一社だけが「競争」に参加して、入札が行われその業者が落札しました。町民から信頼される町政のためには入札に「5社から10社以上が参加しないなら、入札を延期する」ことを提起して今回の請負契約に対する反対討論とします。



▲町道米出今浜線橋梁整備

◎12月定例議会

令和2年度の決算認定を不承認



小島 昌治 議員

町の財政状況は？

令和2年度の宝達志水町の実質公債費比率は県内、19市町の内、順位が上から第2位、将来負担比率の県内順位は上から第5位です。それに加え、財政の弾力化を見る経常収支比率は上から第2位です。また、実質単年度収支は7億2千万円です。簡単に言うと、令和2年度の宝達志水町は、7億2千万円の黒字会計だったという事です。

法律上の町の役割

地方自治法の第1条と第2条には「地方自治体は住民の安全と福祉を守る機

関」である事が書かれています。前町長の8年間で県内トップクラスの財政となっているのに、住民からは今の行政に対する不満と不安が多く寄せられています。

町民の批判を紹介

批判や不満の中身を紹介します。「子育て支援が乏しい」、「町長はいらぬ道路づくりに没頭しすぎ」、「介護施策や医療施策の面で、また、『安心して住み続けられる町』という点で高齢者に冷たい施策だ」、「子育て施策が乏しいから若者がお隣の羽咋市やかほく市に移住してしまう」、「などの感想が寄せられています。

税の使い方の改善を

この町民の声に応えた令和2年度の各会計になっていません。毎年毎年、意味もなく金をため込むのではなく一般会計から数千万円の上水道料金への繰り入

れで、県内一高い上下水道料金を値下げし、安心して水が使うことができる町にしましょう。同じ収入でも国民健康保険と他の健康保険の保険料(税)は1.7倍の違いがあります。年収の低い方が加入する国民健康保険税をせめて、他の健康保険の保険料並みにしようじゃありませんか。

介護保険を安心して利用できるために保険料や利用料金の減額・免除の制度を作る必要があります。

ケーブルテレビ会計では工事費用やテレビ購入があり、年金だけで暮らす高齢者には利用することができないでいます。すべての高齢者の方々に、どうしてもテレビ視聴していただけるかを、一世帯一世帯検討し、そのための施策を作る必要があります。

また、一般会計からの病院会計への繰り出しで、低所得者の方々が医療費の心配をなくし、安心して宝達

志水病院を受診できるための低額・無償診療制度を作る必要があります。できることもしていない決算です。多くの町民の声を正面から受け止めた令和2年度の決算となっていないません。よって決算認定はできません。

◎12月定例議会

賛成討論



小島 昌治 議員

一般会計補正予算に賛成

小島 議員

就学支援費の増額

国が就学支援費の千円の増額を決定したことを受けての町の就学支援要綱の改

定ですが、賛成します。ただ、コロナ禍の下での授業の受講がこれからも考えられるときに、年間千円では対象者は受講のためのインターネット環境を整えられない。町独自の支援費の充実を。

コロナ感染症対策のため、PCR検査装置の購入

630万円でPCR検査装置を購入する予算が計上されています。一回45分間で4人の方の検査を行い、結果を出せる装置です。賛成します。

しかし、宝達志水病院の現在の検査技師の人数では、業務との関係で一日2回から3回しか稼働できないとの説明がありました。町内の開業医の方も気軽に利用できるなど、町立病院としての役割を十分發揮して、感染第6波に対応できるように、検査技師の増員を求めます。

反対討論

「過疎地域持続的発展計画」に反対

小島 議員

なぜ、この計画を作るのか「人口減少が著しい」と国が認めた過疎地域に「特別措置法」が適応され、それに基つき地域が「計画」を立てて、その「計画」に国が必要な措置をするというものです。

なぜ、12月議会に?

地方での計画づくりはそもそも、令和3年4月に国で決まった法律に基づいて行われるものです。12月いっぱいでの国への提出締め切り間近の今議会(数日前に資料が配布されただけで)に、議員への十分な説明もされず、町民にも示されず、今後数年間の過疎対策を賛成しろというのはあまりにも乱暴すぎます。

他の地域での計画作り

国から指定されたある地域では、過疎対策をテーマに町長を始めとする職員が様々な町の団体との懇談会を開催したり、町民一人一人の意見を聞き取ったりして、「計画」を作成しています。そこでは「医療の確保」という項目で、「医師の確保」を「計画」に取り入れ、そのための予算措置を国に要望しています。最初に過疎対策を考えた他の市や町には住民からの知恵を取り入れるという考えがあり、それが成功しています。

なぜ、反対か

この計画づくりに向けた町長の「住民意見の集約」という事に対する不作為を議会が議決でしりぬぐいをするというやり方に賛成できません。

# 町政を問う

## 議員6人が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般にわたって、町長などの執行機関に対して事務の執行状況や将来の方針などについて質問し、説明・報告を求めるものです。

	ページ
■松浦議員 . . . . .	8
・宝達駅西口トイレの再建を	
・通学路の速度規制見直しを検討せよ	
■岩根議員 . . . . .	9
・学校設備の安全点検は？	
・付加価値のあるコメの直売を	
■柴田議員 . . . . .	10
・新規就農者、担い手の確保を	
・歴史遺産を活用し、町の知名度アップを	
■勝二議員 . . . . .	11
・災害時に避難しやすい環境や事前対応を	
・スマート農業の推進を	
■林 議員 . . . . .	12
・高齢者に対するごみ出し支援せよ	
・宝達高校の支援について	
■小島議員 . . . . .	13
・コロナ感染第6波に備えよ	
・学校給食の保護者負担無料化を (その他の質問)	
・生活困窮者に灯油助成を	
・「子どもの未来応援調査報告書」について	



松浦 文治 議員

### 宝達駅西口トイレの再建を

#### 意見をしっかりと受け止める

問 松浦議員

宝達駅西口トイレは、JR西日本七尾鉄道部が3月12日より使用停止しており、その後は撤去作業の予定のようですが、当町としてはトイレ再建等の相談は受けているのか。また、再建計画はあるのか。

宝達駅西口トイレが使用停止となり、多くの方が困っている。トイレが再建されるまで簡易トイレの設置ができないのか。もし、JR西日本七尾鉄道部が再建しないのであれば、当町で再建される計画はあるのか。その他にも、JR七尾線の減便について、もの凄く町民の方が心配されている。町としてどのような対応をされているのか。

答 寶達町長

JR西日本は、宝達駅を始め無人駅のトイレ廃止を進めている。JR西日本として、トイレ再設置計画は無く、また町では東口にトイレを設置しているため、西口にはトイレを設置しない方針としたいと考えている。色々とお困りの方がおられるというご意見は何ったので、そのような事情があるということ、しっかりと受け止めさせていただきます。



▲宝達駅西口トイレ

### 通学路の速度規制見直しを検討せよ

#### 効果的な対策を実施していく

また、JR七尾線の減便については、JRの方から説明を受けた際に、できる限り利便性が低下せず、極力本数が維持されるようにとお話しをさせていただいた。

問 松浦議員

今年、当町での通学路の安全点検を実施した点検結果はどのようであったか。危険箇所への安全対策をどのように実施されるのか。

また、一般県道宝達・今浜線の今浜交差点から博多踏切までのグリーンベルト設置区間の道路は、幅員が狭くカーブもあるため、通行車両や歩行者から危険箇所と認識されている。現行の最高速度時速40キロから適切な速度規制見直しの声があるので、関係機関等と協議の上、検討されてはいかがか。

答 寶達町長

通学路の安全点検については、毎年、学校ごとにPTAや通学路安全対策アドバイザー、関係機関と協力をして実施しているほか、3年に一度、通学路合同点検を実施している。

今年度は合同点検を8月に通学路安全対策アドバイザーの指導・助言の下、学校、警察、県土木

事務所、町交通安全協会と連携し、樋川・相見小学校の通学路において安全点検を行い、危険箇所の現地確認を行った。その後、危険箇所について早急に安全対策を行うと共に、児童や地域住民に対する注意喚起を実施し、残る箇所については、道路改良工事において対応を行うこととしている。

次に、県道宝達今浜線のグリーンベルトの設置区間における速度規制の見直しについて、ご提案の速度規制の見直しも一案ではあるが、大切なはその速度が遵守され、安全に走行されることである。安全確保のために効果的な対策が実施されるよう、ご提案を踏まえて対応していきたい。



▲グリーンベルト設置区間



一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



岩根 信水 議員

学校設備の安全点検は？

毎月点検し安全を確認している

長野県で男子児童が学校の中庭に設置されていた石碑が倒れて下敷きになるという事故が発生した。一歩間違えば取り返しのつかない事故になっていた。

岩根議員

倒壊した石碑は30年余り経過し、セメントによる接着だけだったが、そのような構造の石碑や銅像などは本町の学校でも

あるのではないかと文科省から全国の教育委員会などに倒壊や落下の危険がある学校設備を緊急点検するよう要請をしたとの報道があったが、本町のこれらの点検状況について教えていただきたい。

細江教育長

学校では、毎月1回、教職員が施設設備の安全点検を行っている。その際、目視や触診、ハンマーによる打診、または振動や負荷を加えるなど、複数の方法を組み合わせ、安全を確認している。文科省からの学校設備の緊急点検においては、通知に従い各学校において点検し、安全を確認した。



▲相見小学校にある石碑



▲押水第一小学校にある石碑



▲志雄小学校にある銅像

付加価値のある「米」の直売を

効果的な支援事業の創設を検討する

岩根議員

体力の低下やJAでの米の買取り価格の減額傾向が続いて米作りを断念している方が多くなっている。また、代々受け継いできた田んぼを次の世代が受け継がない傾向も見受けられる。米の買取り価格が減額傾向にある一方、現在の米作りは大規模機械を使用することが設備投資に多額の費用が掛かり、小規模農家は採算が取れない。

寶達町長

提案された様な仕組みがあれば、良い効果が出るかと考えられる。現在、環境にやさしい「能登米」の生産がJA主体で取組まれており、町では、この生産農家の団体に対し、環境保全型農業支払交付金を支給している。

これらの付加価値の付いた米はJAの買取り価格に比べておよそ4〜5倍の値段で販売される。付加価値のついた米の販売は羽咋市神子原地区での成功例があり、地域

また、米の付加価値づくりを推進し生産意欲を促すため、はざ干し米づくりやパッケージ作成等、また直売に関するHP等の作成や利用、これを推進する研修会等を開催し、優良事例の紹介やコンテスト等効果的な支援事業の創設について検討していく。



柴田 捷 議員

### 新規就農者、担い手の確保を

#### 積極的に取り組み できる限り支援をする

問 柴田議員

農業を取巻く環境は、少子高齢化等によって、農家の減少に歯止めがかからず、高齢者のリタイヤが必至。担い手の増加と定着が喫緊の課題。

イチジクやルビローマンも、栽培ノウハウのあるベテランが健全なうちに若い担い手を育成し、事業の継続と生産拡大に向け生産者のすそ野の拡大が急務。

近年、地域おこし協力隊や移住者の新規就農の成功事例が多い。

新規就農希望者は、栽培技術や営農知識、行政等の支援体制、生業としての生活の確保に不安がある。

他自治体では、JAと連携した独自の取組が成果を上げている。

当町において、

①地域おこし協力隊や移住希望者を担い手に育成することを検討すべき。

②町、県の支援事業等を活かし、新規就農者の確保から営農定着までの仕組みをつくり、一貫した就農支援体制の拡大を提案したい。

③新規就農者が専業農家として自立し、稼げる農業者の育成に繋がる。町の方針と考えを問う。

答 寶達町長

地域おこし協力隊や移住者の担い手への育成については、生産の継続、農産物のブランド化等からも有効な方策であり、現在、農業経営に意欲のある地域おこし協力隊を募集している。

今後も移住者の増加と就農に取組んでいく。また、新規就農の支援

制度の拡充について、JAや生産者団体と協議しながら検討していく。できる限り支援をしていき、来ていただいた方に長く活躍していただけるように取り組んでいく。

問 松原農林水産課長

熟練農家が新規就農者に栽培技術を指導、育成する町独自の施策「新規就農里親農家支援事業」を設けている。

### 歴史遺産を活用し、町の知名度アップを

#### 提案に沿って検討したい

問 柴田議員

今日まで町名の認知度を高める情報発信等努力がされてきたか。

令和3年「能登の里山里海」世界農業遺産十年を記念した国際会議が七尾市で開催され、本町が平成25年追加認定されたか問い直す意義もあったのでは。

いま、万葉集の関心が高まっている。関りのある市町は、万葉集ゆかりの歴史遺産を守り活用する取組を始め、七尾市、氷見市、本町の有志の取組の報道もあった。

本町には、歴史の道百選の御上使往来、石仏峠の万葉歌碑、令和の考案者とされる万葉集の第一人者中西進氏揮毫の歌碑、書が現存する。何ものにも代え難い大切な宝である。

中西進氏を巻込み、町民、県、全国に発信し町の認知度アップに活かされることを考える。そのためには、

①歴史の道を町民を巻き込み、誰もが散策できる道や周辺の歌碑の整備、中

西進氏の書等の展示、大伴家持と当町の関りについて中西進氏の講演会などの開催。

②大伴家持が通行したであろう氷見市、羽咋市と連携し、文化遺産を活用した観光、地域の活性化に活かすことを提案したい。

③万葉集とゆかりの深い町の良さを町ぐるみで伝え、活かしていく。町の考え方を問う。

答 寶達町長

歴史の道である御上使往来に関する、氷見市・羽咋市との連携事業、そして本町の史跡等の保存・伝承と有効活用については、古くからの地域的関係性や歴史の意義を深めていくことで、地域の良さを再認識し、郷土への愛着が深まること、更には町の認知度向上にも有効と考え、ご提案に沿って検討したい。

問 坂井生涯学習課長

中西進氏の書をさくらドームの目に触れやすい場所に展示し、講演会の依頼や行事も検討したい。

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



勝二 正人 議員

災害時に避難しやすい環境や 事前対応を

安全確保のため、適宜対応していく

問 勝二議員
災害時に避難所へ避難するケースが少ないように感じる。理由としては、各個人が避難の必要がないと感じることや、避難所が開設されるまで避難をためらうことが考えられる。



▲大雨時の避難所開設 (さくらドーム21)

答 寶達町長
主的な判断で避難することができるところを設置してはどうか。
令和3年1月に発生した豪雪による孤立の経験を踏まえ、まずは孤立を回避するために山間部の集落に対して、事前に気象情報を提供すると共に、平野部に避難することや、集落会館や個人宅に身を寄せて安全に確保するように呼びかけを行ってはどうか。

また、孤立時の対応等がスムーズに実施できるよう、人や組織・資材等の準備を十分しておくべきと考えるが対応を示されたい。
次に、昨冬の豪雪による孤立を踏まえた対応については、まず、集落区長や住民に対し、早期に気象等の情報提供や安全行動に関する呼びかけを積極的に行うほか、孤立発生時の救援等の対策について、経験をもとに、住民の安否確認や電気、電話、水道などライフラインの状況確認と復旧、飲料水や通信機器等の救援資機材の活用が迅速かつ確実に実施できるよう備えていく。

スマート農業の推進を

スマート農業の普及を図る

問 勝二議員

農業の現場では、依然として人手に頼る作業や熟練者でなければできない作業が多く、省力化、人手の確保、負担の軽減が重要な課題となっている。

答 寶達町長

も、先進技術の導入が盛んな地域を参考に、勉強会や機器のデモンストレーションを実施して、スマート農業の導入促進を図ればどうか。

例えば、ため池の堤体の除草には多くの人手が必要ですが、人手の確保も徐々に難しくなっており、人が多くなれば事故等の危険性が高くなる。本町には多くのため池があり、負担軽減は農業の持続にも効果があると思われる。

そこで、農業に携わる人手の減少や高齢化に対応するために、先進機器の導入を支援してはどうか。集落や農業関係組織と連携してラジコン式の大形除草機を導入すると共に、オペレータを育成し、効率的かつ安全に除草が行えるように取り組んではどうか。この他に、スマート農業の普及を図っていききたい。



林 稔 議員

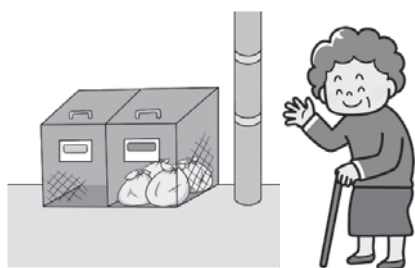
### 高齢者に対する 「ごみ出し支援せよ」 支援制度の導入を検討していく

問 林議員

高齢者等がごみをステーションに出すことが困難になってきている。住みよい環境づくりのために、自力でごみ出しをすることが困難な方への支援策を検討してはどうか。

答 寶達町長

高齢者世帯に対するごみ出し支援について、ご指摘のとおり、高齢化や核家族化の進展に伴い高齢者のみの世帯が増加することにより、家庭からの日々のごみ出しが負担となる事例が生じている。これを踏まえ、特別交



▲高齢者の負担となるごみ出し

付税の令和元年度3月分の算定から、新規項目として「高齢者等世帯に対するごみ出し支援」が創設され、所定の経費について、特別交付税措置が講じられている。廃棄物部局と福祉部局が連携しながら、支援制度の導入を検討していく必要があると考えている。

### 宝達高校に支援せよ

#### 進路選択が広がるよう、 宝達高校とも連携し、支援していく

問 林議員

現在の支援内容と、その効果は。子どもの減少により、特に普通科高校が生徒の確保に苦労している中で、特色ある学校づくりが大切だと考える。進路選択を支援するために、資格取得やICT技術、または医療・福祉に関する人材育成に看護・福祉系の学科の設置等が図られる様な取組みを進めてはどうか。

答 細江教育長

宝達高校の支援について、これまで「宝達高校を支援する会」の活動を通じ、教育活動、部活動への助成、コロナ禍で本年度は十分な活動はできなかったが、中学3年生による体験入学。また、高校の教師による授業参観等の中・高連携活動の推進を行ってきた。

また、昨年度から、電車通学者の定期券助成や志雄地区への通学バスの運行等、支援を拡充してきたところである。

効果として、若干では

あるが、津幡方面や町内からの入学者数が増えたことにより、2クラスを確保できたことが挙げられる。

次に、進路選択の支援として、これまでもキャリア教育を推進してきた。現在は、大学の見学、英語検定、漢字検定、商業検定等の検定料の補助や公務員・就職試験対策講座等、多方面において支援を行っている。

また、今後、医療・福祉に関する人材育成を進めることが重要になってくると考えられる。これまで以上に特色ある学校となるよう、ご意見の件も含め進路選択が広がるよう、宝達高校とも連携し、支援してまいりたい。



▲宝達高校

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



小島 昌治 議員

コロナ感染第6波に備えよ

これまで通りの事をする

問 小島議員
新型コロナウイルスの有効性と欠点への対応を
ワクチン接種は重症化を防ぐ大きな利点がある。一方、新型コロナウイルスに感染しても症状が出ない人が増えるという欠点も併せ持つ。だから、感染者が感染したら重症化する危険が大きい高齢者施設や障がい者施設、医療機関、学校・保育所など、ウイルスを入れてはいけな

答 寶達町長
私は定期的な検査の実施は考えていません。
問 小島議員
12月に新しく購入するPCR検査装置のフル稼働を新しく購入するPCR検査装置は多ければ一日に何十人も検査できる装置だ。これをフル稼働させて、宝達志水病院の検査技師を(国から支給されている)コロナ関連予算を使って)増やし、高齢者関連施設や子どもたち関連の施設、障がい者施設職員への定期的な検査ができるし、町内医療機関への貢献ができるが、その考えは。

問 小島議員
宝達町長
宝達町長
問 小島議員
学校給食法第11条とは
学校給食に必要な施設や設備などは町が支出するが、給食の材料費などは父母負担であるとの根拠になる法律です。

問 寶達町長
これまでお答えした通り、現状では無償化を行いません。
問 小島議員
学校給食法第11条の解釈
宝達町長
問 寶達町長
他町と違い温かい給食を作るのに経費がかかる。

問 寶達町長
宝達町長
問 寶達町長
他町と違い温かい給食を作るのに経費がかかる。

第6波への対応の提案
それらの施設で働く職員への定期的なPCR検査の実施が必要です。そのため予算計上と国や県への無料の検査の保障を求めることが求められる。いかがか。

問 小島議員
県内の状況と宝達志水町が無料化できない理由は？
県内19の自治体内、羽咋市を含め、条件付きで学校給食の無料化を行っている自治体が8つと広がっているが、町長は第1に町財政の状況と第2に学校給食法第11条を根拠に学校給食の「無料化はできない」と言っているがその答弁に変わりはしないか。

問 寶達町長
学校給食法第11条がありながら、無料化した自治体に文部科学省から「有料に戻せ」などの勧告や指導はないかどうかを県内外の自治体に電話をして聞きましたが、全て「一切ない」との返事です。

問 寶達町長
宝達町長
問 寶達町長
他町と違い温かい給食を作るのに経費がかかる。

学校給食の保護者負担無料化を (小島議員)

できないし、考えていない (寶達町長)

# 決算特別委員会を開催

(10月13日・14日)

## 令和2年度各会計決算を審査

### 認定すべきものと決定!



決算特別委員会では、第3回定例会（9月開催）において、令和2年度各会計決算の審査のため、決算特別委員会を設置し、今回、付託された案件について、順次審査しました。

町からは令和2年度主要施策の成果等について説明があり、その後、個別の聞き取り審査を実施しました。

#### ◎聞き取り審査内容

◎**固地域サポート事業で除雪機3台を整備しているが、5集落にそれぞれ準備して作業した方が効率的ではないか。**

◎**除雪機は宝くじコミュニティ**

テイ事業の助成で整備した。次回の懇談会で今後の活用方法や運用のあり方について協議する。

◎**令和2年度海岸漂着物地域対策推進業務委託料（海岸清掃業務）7,829,800円の請負業者は。ごみ量は予算の範囲内で回収か。**

◎**請負業者は入札により北川尻工建が請け負った。ごみは予算（県の配分額）の範囲内で回収してもらっている。**

◎**コミュニティバスのバス停を利用者が使いやすいよ**

うに拡大すればどうか。

◎**バス停を拡大すると、最終地点までの時間がかかる。デマンドタクシーとの差別化を前に出し、利用者が選択できるような対応を検討する。**



▲コミュニティバス

◎**宝の縁結び事業の登録者数は。**

◎**約20人。**

◎**認定こども園のWiFi環境は既に整備済みか。また、ICTを活用した運営とは。**

◎**WiFiは昨年度に整備済み。ICTの活用では、タブレットを購入し、アプ**

りの「コードモン」を導入し、保護者への出欠確認等に利用している。また、幼児教育にも活用できればと考えている。



▲情報共有アプリ「コードモン」

◎**子浦川の浸水区域に入っているが、宝達志水病院横の土地を宅地造成すればいいのではないか。**

◎**千年に1回の大雨では、1メートル弱の浸水が想定されているが、かさ上げすれば良い場所。今後、検討していく。**

◎**道路整備は志雄地区は遅れている。旧地区に格差がないように予算配分してほしい。**

◎**現在、押水地区に補助事業等で大きな予算が配分されているが、集落要望等の予算は均等に配分されている。今後、優先順位を付けて整備していきたい。**

◎**緩衝帯整備事業後の管理について。**

◎**鳥獣抑止効果を継続するため、ヤブの伐採、下草刈り等の保全活動は県、町、地元が連携した取組みが必要。整備後の管理について、集落には生息区域別化事業を活用しながら行っていた**



▲緩衝帯整備事業（東間地内）

小学校統合問題を  
クローズアップ!

令和7年4月の

# 統合小学校開校に向け協議

令和3年9月に第1回小学校統合準備委員会を設置

小学校及び保育所統廃合

特別委員会を開催

(11月17日)

前回の平成30年11月に引き続き、小学校及び保育所統廃合特別委員会を開催しました。

今回は、議件の中で自由意見の時間を設けて、各委員が小学校及び保育所の統廃合についての要望・意見を述べました。

旧押水地区の統合小学校の場所は、相見小学校になるという前提で説明されたが、いつ決められたのか。

6月議会で町長よりお話しがあった。

相見・宝達・押水第一小学校のそれぞれの建築年度が変わらないと思うが、新しくして大規模改修しないかとやっていけないような状況では。

押水第一小学校の築年数

は54年、宝達・相見小学校は共に53年です。

10年後の入学生徒数は。

開校時の令和7年度の段階での全児童数ということになりますが、押水第一・宝達小・相見小が統合した場合の学校では214名、樋川小・志雄小が統合した場合では194名です。

制服は非常に費用が掛かるため、心配をされている。それに対して補助をすることを検討しているのか。

それぞれの学校で使用している制服や体操服を引き続き使って、買い換え時に新しいものを買っていただければというふうにも考えている。補助については、現状考えていない。

子どもが同じ学校へ行って制服が違っているというのは、逆に子どもに負担になると提起される人もいます。準備委員会ですのような話

はなかったのか。

準備委員会ですのような意見は出されていない。

準備委員会です将来1校案というような意見を出す人はいなかったのか。

意見は出されていない。

残りの学校については、町長は有効に使えるような施設ができればという発言をされている。残りの学校についてアスベスト調査しないのであれば、再利用しないのか。

建築物を建て触らない場合は、アスベスト調査の必要はないといわれているので、耐震をする2校のみが調査をする。2校以外の利活用については、今はまだ検討中のため、アスベスト調査はしない。

残りの学校について、利活用するのかわからないのか。ちらなのか。

現時点の校舎等の利活用は決まっていない。どのような使い方をするのか、その際に改修するのか、壊すのか、そういうことをするとなれば改めて調査をする。

この特別委員会では、こんな意見も出されています

「これまで小学校は旧押水地区3校、旧志雄地区2校というシステムでやってきた。統合の目的には「大きな集団を作って競争力を高める。効率よく教育を行う」と言っているが、現状は県内で成績はトップクラス。心豊かな子がたくさん育っている。だから、小学校統合は反対だ。

しかし、どうしても小学校を統合するというのなら、旧押水地域は宝達地区に小学校を新築すべきです。なぜなら、宝達校下だけ子育ての拠点がなく(第一校下と相見校下は保育所があり)からであり、小学校の築年数は3校とも50年以上だからです」

会期中の  
常任委員会等審議

病院運営特別委員会

(12月10日)



今年度、PCR検査装置購入予定

▲宝達志水病院

ルスの診断を行うことは可能である。

問 抗原検査はウイルスの量が少ないと検知できないと聞いているが、実際はどうなのか。

答 症状がある程度出ている段階であれば、抗原検査でもPCR検査と同じ程度の感度は担保されていると言われている。かかり始めて、まだウイルス量が少ない、あるいは、良くなってきてウイルス量が減っているという段階だと、やはりPCR検査で陽性になるのが抗原検査では出てこないのが、気を付けないといけない。

問 新たな変異株であるオミクロン株はインフルエンザとの関係性もある。オミクロン株対策として、インフルエンザワクチンが重要ななるのか。

答 オミクロン株は風邪に近

いような病原性であると思わせるような話があるが、軽症で留まるようなウイルスなのか、それとも、ワクチンで抑えられて、免疫ができていない方には、かなり重症化するものなのか、そういう所はまだデータを集めている段階である。インフルエンザワクチンが有効かどうかは、まだデータがないと思うが、何らかの免疫、インフルエンザワクチンが高めてくれる話もないわけではないので、多少はプラスになる面はあるかもしれないが、全く確証はない。

問 PCR検査の対象者は。

答 例えば、病院の患者や通院者、かかりつけの医者から要請があった場合、介護で兆候があった時など、そういった目的でもできるのか。

問 対象は広く考えている。あまり流行っていないよ

うな状況で、しかも症状から可能性は低いだろうという場合は、抗原検査で陰性であれば、終わりにするケースはこれからもあると思われる。ただ、感染がかなり増えてきて、誰がかかっているかわからないという状況になれば、基本的にはPCR検査を中心に考えていく。また、施設等から要請があれば極力受けたい。

問 PCR検査の料金は。

答 PCR検査は症状が無くても自身の希望で検査を受けたい人は、自己負担で3万円である。症状が少しでもある人は保険適用になるので、自己負担はかからないが、初診料はかかる。

問 PCR検査装置は他市町にはあるのか。

答 羽咋病院や津幡町の河北中央病院に置いてある。

問 除雪体制は整っているのか。

答 専属業者と委託契約を結んでおり、町道とは別に優先的に除雪を行っている。ただいている。

問 徳島県の町立病院がハッカー集団からサイバー攻撃を受けて、電子カルテが暗号化されて見れないという状況になった。宝達志水病院では対策を取っているのか。

答 その病院は、ID番号やパスワードが外から見られる状況であった。当院の対策として、電子カルテのパスワードを3ヶ月に1回変更しており、万が一に備えて、院外のデータセンターに毎日データバックアップを行っている。万が一のことがあっても、データを再現できるため、徳島県のような状況にはならないと考えている。

問 PCR検査装置で他のほんの僅かに限られたウイ

問 PCR検査装置の新型コロナウイルス検査以外の使い道を教えてほしい。



教育厚生常任委員会

(12月13日)

問 マッサージチェア等の備品購入があるが、金額がかなり高いのではないかと何者から見積りをとったのか。最低、3者から見積りをとるようにしてほしい。

答 2者からの見積りである。3者とれるような形であれば3者として、実際に入札や見積り合わせを行うため、これ以上に価格が安価になる。

問 児童手当給付事業費が増加した理由は。

答 当初予算では三カ年の児童の減少の推移見込で算出していたが、実際はそこまで人口推移が落ち込むことがなかったため。

問 今後、子どもを増やすにはどうしたらいいか。

答 若い世代の方が本町に住みたくなるように、子育てしやすい環境整備や支援等を実施し、移住・定住を拡充させ、住民を増加させることだと思う。

問 不妊治療費助成事業の給付費が増加した理由は。

答 特定不妊治療費の給付は今年度7人が利用しており、今後、令和4年3月までについても、利用が見込まれる。

問 グループホームのスプリングクラス設備を改修するというところで、町内にはグループホームが何件あり、その他からの要望がどこまで進んでいるのか。

答 グループホームは5施設ある。昨年はグループホーム押水と宝達の郷から要望があり整備した。

問 町内グループホームのうち、スプリングクラスの設置はどれくらい整備されているのか。

答 地域介護・福祉空間整備等施設整備事業では、元々取り付けされている所は必要ないということで、今年度はグループホーム志雄から要望があるが、昨年度この事業を活用したのは2施設である。



▲グループホーム志雄

問 積極的に施設側に説明し、安全なグループホームだと認識するように努めること。

答 指摘の通り、事業の活用を周知していく。

問 就学困難な児童生徒に係る学習支援の対象者数に不登校の生徒数は含まれているのか。

答 不登校の生徒数は含まれている。

問 以前に先生方が熱心に家庭訪問をされ解決に至ったこともある。生徒に常に寄り添う対応をしてほしい。

答 生徒のみならず保護者の話も聞き、スクールカウンセラーや外部専門機関等を活用しながら対応を行っていく。

問 オンライン授業を実施する際の電子黒板はどのように使用するのか。

答 購入する予定の電子黒板は65インチで、小学校では低・中・高学年に1台ずつ交替しながら使用する。中学校では、既に大型ディスプレイを導入しているが、電子化できるものを各学年に1台ずつ配置する。

問 新型コロナウイルスワクチン接種の3回目のスケジュールで、1月から医療従事者、2月から高齢者施設入所者で、65歳以上の高齢者はいつから開始されるのか。前倒しで早く接種できないのか。

答 65歳以上の高齢者は3月から実施予定としている。町民全てに行き渡るワクチンの確保が確認できれば、速やかに進める。

問 事故があつてからでは遅いため、申請のあつた所に対応しているようだが、

総務産業建設常任委員会  
(12月15日)

問 企業誘致を進めるために「企業マッチングツール」を3か月間、利用するための費用月108万円余を計上しているが、初めての利用なのかどうか。また、今後、ずっと使うのか。

答 効果をどう見ているか。これまでのトップセールスははどうなのか。

問 今回の補正予算は1月から3月までやってみようという予算です。効果のほどは未知数ですが、企業へのアプローチがしやすくなり、約束が取りやすくなります。効果があれば継続します。トップセールスも必要です。

問 本町への宿泊費助成に500万円余、宣伝費に135万円余、ポイント10倍事業に200万円余のDMO事業費の予算計上についてですが、ポイントの有効期限は1年となっているが、そのポイント分はカード会がずっと持っているという事なのか。

答 その通りです。

問 町の指定管理施設である温泉施設運営費の70万円の増額だが、理由は何か？

答 主な理由は、そもそも町の指定管理施設という事です。新型コロナの影響で一時的に入浴者が減って、運営がままならなくなっている。それを補正予算で対応するという事です。

問 ふるさと納税推進事業費の予算が2100万円余計上されています。詳細は手数料に39万円、業務委託料に1800万円余、システム使用料に200万円弱の説明を。

答 新たに頂いたふるさと納税に対して、返礼品を買ったり送ったりするのにかかる費用です。

問 ため池の廃止はなぜか。

答 集落からの要望で、灌漑用水として利用しなくなったので、廃止としました。

問 歳入についてお聞きするが、県内自治体の人口比で見ると、外国人労働者がトップ3に入る宝達志水町だが、国からきているコロナワクチン接種費用にこの外国人労働者分が入っているのか。

答 町内で接種した場合は助成の対象です。

問 歳入で、国庫支出金で学校教育支援費がきている。オンライン学習を実施する際の通信費を対象世帯に1か月、1000円支給するための予算との説明だが、それで就業援助世帯のインターネット環境が十分に整うのか。

答 インターネット環境を充実させる助成金ではありません。



総務産業建設常任委員会

閉会中審査

(7月29日・12月15日)

寶達町長の「町職員倫理条例違反」疑いについて審議しています。

そもそも、町民の声で始まった委員会

6月18日の議会全員協議会の中で「町民から『最近、町の談合情報が続いているが、寶達町長が、町が発注する公共事業の落札業者と町の居酒屋などで一緒に酒を飲んでる場に出くわす』が、大丈夫か」との訴えがあった事で質疑。

寶達町長は「その方と過去に飲んだことはあるけれど、入札の前に飲んだという事はない」と答弁。

この問題での総務産業建設常任委員会を臨時に開催

これは「町職員倫理条例」違反を疑う答弁であるため、総務産業建設常任委員会が

町条例に従い、町職員の倫理監督者である村井総務課長に町職員倫理委員会（委員長に高下副町長、委員に細江教育長と村井総務課長）を開催し、委員会に調査した結果報告を要請しました。

「町職員倫理条例」とは  
目的が「公務に対する町民の信頼を確保する」事。  
この条例の対象に町長や教育長も入ります  
条例施行規則などでは利害関係者から飲食等の供応接待を受け、又は、適正な対価を支払わない・割り勘での飲食、遊技、ゴルフや旅行も禁止しています。

調査報告書（要約）

開催日時

令和3年7月16日（金）

16時～16時30分

調査対象者

職氏名 宝達志水町長

寶達 典久

調査（聞き取り）の結果

「答弁をした主旨は、新年互例会や消防の懇親会の席で飲食したことがあったのでそう答弁した。入札について話をしたことがない」との聞き取りをした。

処分・措置等

利害関係者からの供応接待の事実は認められないため、処分は行わない

提出された調査報告書に基づき、総務産業建設常任委員会の開催と質疑・答弁  
☐ 供応・接待がなかったと報告書でいっているが、その結論の前に、利害関係者との私的な飲み食いの事実があったのかなかったのか。

私自身は町長が利害関係者と飲み食いしていたのを見たという人を何人も知っています。それを証言してくれる人もいます。その人を連れてくることもできますが、そのままですることは本意でない。

い。町長が「町職員倫理条例を知らなかったので利害関係者と一杯飲んだ。軽率だった。善処し、この問題で私を含め職員教育を徹底します」といえば今後の町のためになる。事実を否定するからいろいろなことを勘ぐる。例えば、町が発表している入札結果では、町長がいつしよに私的に酒を飲んでる業者が高い落札率で公共事業を請け負っている、一社だけしか入らないでその業者が指名競争入札を何度も行っている。なぜか、という話になる。

☐ 確かに、疑われている関連業者が町発注の工事落札が多すぎるという事実もあります。……

☐ 一社だけで競争入札を実施する異常な事態を、本来の複数で競争ができる入札にできないのか。

☐ 一社にしない努力はしていく。

☐ 町長への30分間の聞き取りで、一方的な調査が終わり、結果を出すのでなく、調査を広めることはできないか。例えば、調査委員会責任者の高下副町長の下に告発があったりしたら詳しい聞き取り調査を行うとか、問題となってる町やかほく市の飲み食いの場所の聞きとりなどが必要だ。

☐ 具体的に町民からの情報提供があれば対応します。

委員会後、小島委員長と岩根副委員長で、審議の継続をどうかの意見交換を行い、「一方からだけのわずか30分間の聞き取りで調査を終了というのはあまりにも乱暴。今後も審議を継続する」ことを確認しました。ご意見などは議会事務局へ。

「表紙の写真は」

議会広報「宝達志水町を裏で支える人達」の第5弾は「公益社団法人七尾法学会女性部会」の皆さんです。

公益社団法人七尾法学会事務局長の上嶋豊志さんにお話を伺いました。

公益社団法人七尾法学会女性部会は、女性部会長である多田則子さん（七尾市）をはじめ35名の部会員で構成される組織です。地域社会貢献活動を展開する中で、「親子の絆」、「地域の絆」の大切さを見直す心を、より一層育んでもらうことを願って、「人の道、親がつくって、子が歩む」をテーマとする祈願像を、平成18年より七尾市、中能登町、羽咋市に設置されております。

この度は、本町の法人会員及び女性部会員の皆様の力強い応援により、多くの方が足を運ばれる宝達志水町産業センターの地に設置をしていただきました。祈願像を見られた方々には、必ずや私たちの願いが届くものと信じておりますとのことです。

また、「税の大切さ」を小学生にも知ってもらうために、羽咋郡市租税教育推進協議会からの依頼を受けて、毎年、本町の各小学校で開催される租税教室に講師として参加されるなど、様々な社会貢献活動を行ってられます。

インタビュー 林 稔

表彰

この度、柴田捷議員に対し、宝達志水町議会議長の退任にあたり、石川県町村議会議長会会長から感謝状が贈られ、12月9日開催の令和3年第4回定例会において、感謝状の伝達式が議場で行われ、塚本副議長から感謝状が贈呈されました。

○感謝状

柴田 捷 議員



令和4年 第1回定例会本会議の日程

〔開会〕 3月3日(木) 午前10時

〔再開〕 3月11日(金) 午後2時

◎傍聴のご案内

■受付 会議当日、午前8時30分から議会事務局（庁舎3階）で受付いたします。

■手続 傍聴受付票にご自分の住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券の交付を受け傍聴席へお入りください。

◎新型コロナウイルス感染防止のため、人数を制限するなど感染防止対策にご協力ください。

◎町議会のトップページより議会本会議の生中継をインターネット（YouTube）で見られますのでご覧ください。

（※本会議当日は1階正面玄関住民課側の町民サロンのテレビでもご視聴いただけます。）

●議会だよりへのご意見、ご感想がありましたら、電話、FAX、Eメールなどでお寄せください。

広報編集特別委員会

- 委員長 林 稔
- 副委員長 小島 昌治
- 委員 塚本 勇仁
- 委員 松浦 文治
- 委員 勝二 正人

令和4年2月1日 発行

■発行 宝達志水町議会

責任者／議長 金田 之治

〒929-1492 石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL(0767)29-8310 (直通) / FAX(0767)29-4623

E-mail gikai@town.hodatsushimizu.lg.jp

■編集責任者／林 稔



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。E3PA：環境保護印刷推進協議会

この広報は高精細340線で印刷したものです。